

<h1>第 299 回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

- ◎ 日時 2018年3月23日(金) 10:00~16:30
- ◎ 場所 きゅりあん 6階 大会議室
- ◎ 出席者 36名 (法人会員:20名 個人会員:10名 オブザーバ:6名)

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員長挨拶

来月は月例会第300回記念式典を4月27日午後開催予定しています。
外部からの来賓をお迎えして特別講演やこれまでの月例会の軌跡を振り返りたいと考えています。
また17時からは同じ建物の7階イベントホールにて懇親会を開催します。会員の皆様には案内を送付しますので、是非出席をお願いします。

② 福田会長挨拶

新規会員やオブザーバ参加されている方が増えてきている事は大変喜ばしいことです。
新しい人が入ってくることは新しい人の着眼点があるので、それが相乗効果につながり月例会が更に活性化されることを期待します。

③ トピックス

- 平成30年度厚生労働省委託事業「機能安全を活用した機械の安全対策の推進事業」について紹介 (添付資料 299-1-1 参照)
- 経済産業省(関東経済産業局)発行「ロボットシステムインテグレータ(ロボットSier)の紹介冊子」とロボットSierを紹介するWEB上の特設ページの案内。(資料 299-1-2 参照)

④ 会員からの要望

- ・「ヒューマンエラー」の講習を月例会等で計画して頂きたい。

2) 定例報告

① 第298回月例会(東京)及び第24回企画運営委員会の概要

詳細は月例会議事録を参照。

② 第22回関西月例会・関西委員会活動報告概要

詳細は関西月例会議事録を参照。

3) 「リスクアセスメント委員会の設置案について」

企画運営委員会

- リスクアセスメント委員会発足の背景や目標等の趣旨説明

配布資料 2部

資料 299-1-1 「機能安全を活用した機械の安全対策の推進事業について」

資料 299-1-2 「ロボットシステムインテグレータ（ロボット SIer）の紹介冊子発行との特設ページ開設の案内」

2. 報告テーマ「ISO 45001の概略」

13:00～14:30

JQA 松倉宏行様

- 2018年3月12日に発行された国際規格 ISO 45001 について概要説明

【説明内容】

- ・ 開発の背景と共通要素
- ・ ISO 45001 のポイント ……1章適用範囲～10章改善について解説
- ・ 認証審査について

* 詳細は配布資料 299-2-1 「ISO 45001 の概略」を参照のこと。

－ Q&A の 1 例 －

Q: ISO 45001 と厚生労働省の OSHMS 指針との関係はどうなっていますか？

A: 厚労省の指針とは基本的には合致しているが、KY やヒヤリハット等の詳細な活動は ISO 45001 では含まれていない。

Q: 文化（カルチャ）をつくるプロセスはどの位置づけにあるのか。

A: 規格では意図した成果を支援する文化を言っている。

配布資料 1部

資料 299-2-1 「ISO 45001 の概略」

3. 討議テーマ「各社のリスクアセスメント教育実施状況と課題について」

14:30～16:40 企画運営委員会

【リスクアセスメント教育の実施状況を各社報告】

リスクアセスメントの教育をそれぞれ社内研修や外部講習など色々な取り組みが実施されているが、結果として災害が顕著に減らない各社の悩みも散見された。更に教育体系全体の必要性についても討議された。又座学だけのリスクアセスメント研修だけでは危険源の洗い出しなどのスキル UP が期待できない意見もあり、実機や動画活用によるリスクアセスメントの有効性も報告された。

最後に討議の中で誰でもわかるイラストや写真を活用した危険源を理解させる手法の紹介があった。

月例会説明資料

資料番号	資料名
299-1-1	「機能安全を活用した機械の安全対策の推進事業について」
299-1-2	「ロボットシステムインテグレータ（ロボット SIer）の紹介冊子発行との特設ページ開設の案内 」
299-2-1	「ISO 45001 の概略」